

BreakThrough

～夢に向かって～

第6号

福島県立相馬高等学校第3学年
令和4年9月30日発行

幸か不幸か ～幸も不幸も永遠には続かない～

テーマに関連して自分の大学時代以降の人生を掻い摘んで紹介したいと思います。大学は関東圏にある大学に進学しました。入学当初は身近に知り合いもおらず、土地勘も全くなかったため、非常につまらなく寂しい日々を過ごしていました。時間が経つにつれ友人も増え、ともに過ごす時間が大半を占めるようになりました。結果的にはほぼ毎日一緒に過ごしていたと思います。卒業して地元に戻るとなった時には別れを惜しんで皆で号泣した記憶があります。今でも付き合いはありますし、“気のおけない仲間”とはこういうことを言うのだなとつくづく感じています。大学時代は“幸”の時期でした。

卒業後の1年間はフリーターとして夜12時から翌朝8時までコンビニでの深夜バイトをしていました。当時は、モーニング娘や浜崎あゆみの恋愛ソングが店内の有線放送で流れている中、酔ったお客様の接客や掃除、品出しなどしながら「俺、何やってんだろ...」とよく憂鬱になっていたものです。この時期も1年で終わりを迎え、翌年には講師として教職に就き、さらに翌年には正採用教員として着任することができました。初任校ではいろいろな生徒や先生方との出会いがあり、充実した4年間を過ごしました。その時に出会った1人の先生が今の妻となっています。

その後、初任校での勤務も終わりを迎える時期となり、別の学校に赴任することとなりました。当時の生徒像は、今と違ってやんちゃな生徒が多い時代でした。あるクラスの授業に初めて行ったときの事です。教室に入るとトイレペーパーが宙を舞い、下を向いている生徒は漫画を読み、耳元にはピアス穴が何個も空いている生徒が多数在籍。注意すると「うるせー!」「誰に向かって言ってるんだ!」等の反応。それ以外にもいわゆる問題行動と呼ばれることが起き、頻繁に生徒指導に追われた時代でした。これは経験という意味では“幸”だったかもしれませんが、教員として苦労した時期という意味では“不幸”だったかもしれません。その後もいくつかの学校に異動しましたが、前述の経験もあったことや何よりも穏やかで落ち着いた生徒が多くなってきたこともあり、“幸”な時期が続いています。

ここまで紹介したように、幸せな時期も不幸な時期も永遠には続きません。“幸”の時期にはその状況が当然で、いずれ不幸な時期が訪れるなどとは日頃感じることはありませんし、同様に不幸な時期はいつ終わりが来るのかもわからず不安でつらい日々を過ごすこととなります。現在、皆さんは友人と高校生活を楽しみながら、やがて来る“自由”を心待ちにしている“幸”の時期ですか?あるいは焦りや戸惑い、悩みに囚われながら受験勉強に追われる“不幸”な時期ですか?幸せな時期も不幸な時期も人生という長いスパンで考えれば半々くらいなのでしょうが、自分の考え方や行動次第で幸せな時期にしたり、その時期を延ばしたりすることは可能だと思います。皆さんの“幸”の時期が長くなるようご活躍を期待したいと思います。

(2組副担任 湯澤敏洋)

10月の行事予定

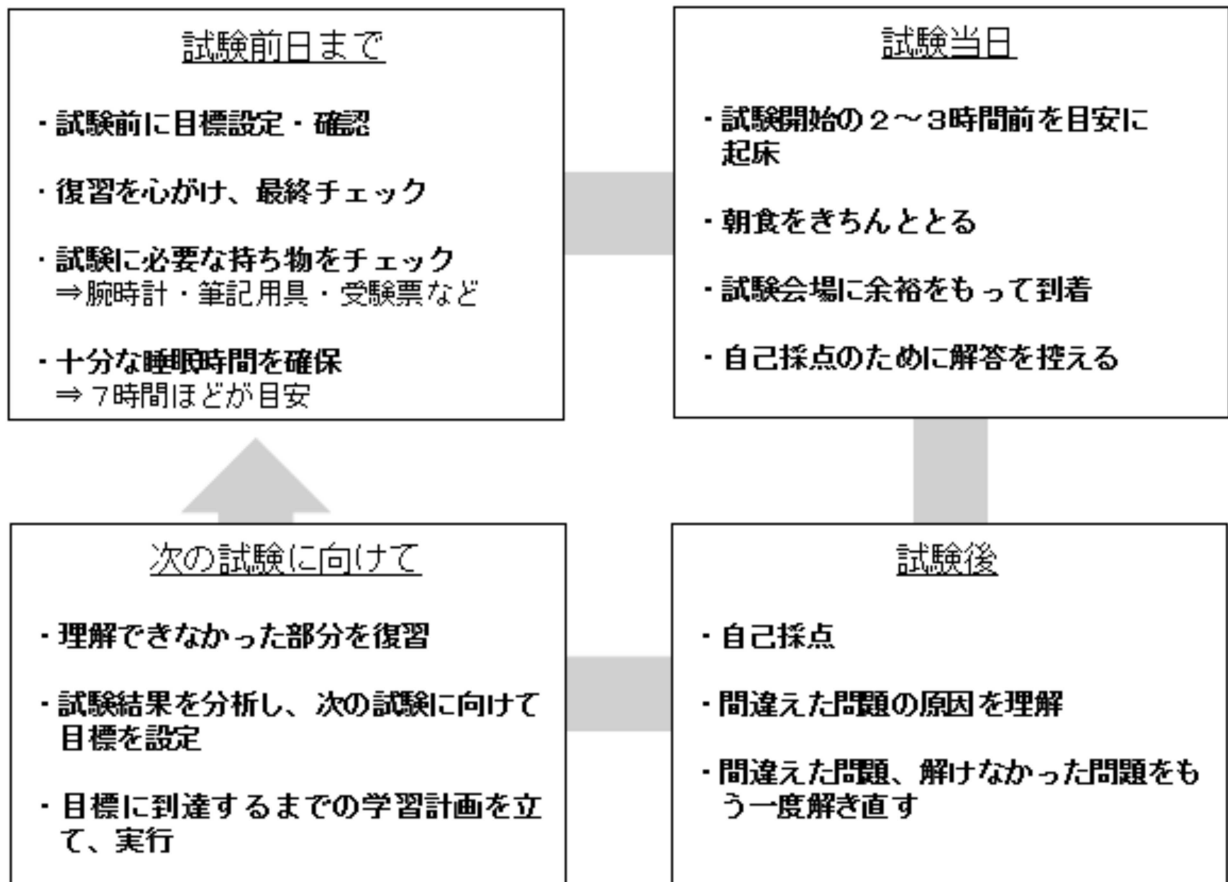
SC来校日	4(火)、14(金)、21(金)、31(月)	総合型選抜組は受験スタート、学校型 推薦型選抜組はエントリースタートで す。
1日(土)	第3回全統記述模試	15日(土) 東北大オープン模試
2日(日)	第2回英検	土曜課外
3日(月)	衣替え、服装指導	22日(土) 第3回全統共通テスト模試
7日(金)	体育祭(14日予備日)	25日(火)～28日(金) 2学年修学旅行
8日(土)	第2回共催記述模試	29日(土) 第3回共催共通テスト模試
10日(月)	スポーツの日	※修学旅行期間中、3学年も 何かやる予定!です!!!!!!
11日(火)～17日(月)	面接週間	

ひきつづき
コロナ感染拡大防止
協力してください。

色々と制限は緩やかになってきてはいますが、皆さんにとって大切なときです。体調管理をしっかりして、心身ともに健康でいましょう。何か心配事があったら、先生達に相談してください。

入試本番を意識して、模擬試験を活用しましょう

10月は模擬試験が多いです。一つひとつの模擬試験に対して、本番だという気持ちで臨み、受験後は解答解説やWEB解説を確認し必ず復習をしましょう。また、結果に一喜一憂して先の見通しが立てられないということのないように、結果は真摯に受け止めて、できなかったところを一つひとつ克服していけるようにしましょう。



手続きは、素早く・正確に！！！！

現在、受験をするための出願手続きが始まっていますが、ヒヤリとすることもしばしばあります。どれだけ勉強を頑張っても、出願手続きが正確にされなければ受験できません。書類に不備があったり出願締め切りに間に合わなかったりした場合は、絶対に受け付けてもらえません。以下、トラブル事例を載せます。これから学校推薦型選抜の人たちの出願も始まります。手続きを素早く正確にした上で、はじめて受験できる状態になります。自分の都合で動くことのないようにしましょう。

- ①志願理由書などはきちんと書き上がっていたが、受験料を払い込み忘れていた。
 - ②実は引っ越しをしていて、学校に報告していなかった。
…調査書にはあなたたちの住所も記載されています。あなたたちが書いた書類と調査書の住所に違いがあると、大学側から「書類の不備」として扱われてしまいます。
 - ③ネット出願のやり方がわからず後回しにしていたら、ぎりぎりの出願になってしまった。
 - ④郵便局に行くのが面倒くさくて後回しにしていたら、ぎりぎりの出願になってしまった。
 - ⑤出願手続きが遅くなり、希望の会場で受験できなかった。
 - ⑥大学宛の封筒に書かれている「行」を「御中」に直さずに出した。
(「行」を訂正して「御中」に直すところを、訂正線をなぜか三重線にした、など)
 - ⑦志望理由書のペン書きを間違えたので、修正液で訂正してしまった。
 - ⑧ペン書きの段階でたくさん間違えて、出願に遅れた。
 - ⑨実は先生が書く推薦書も出願書類にあるのに、先生に作成依頼するのを忘れていた。
 - ⑩返信用封筒に切手を貼り忘れていた。
- などなど…準備不足・確認不足によるトラブルは避けたいところです。入試要項はきちんと読み、間違いのないようにしましょう。